



運動会：5月25日（土）



ほうない

第3号

 村上市立保内小学校
 強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋264-2

TEL0254-62-2302

FAX0254-62-5553

運動会から見た、コミュニティ・スクールの価値

校長 須貝 学

新元号令和になって最初の運動会は、平成最後となった、昨年に引き続き、最高の晴天に恵まれました。しかし、昨年と全く違って、この晴れ空が運動会の運営の大きな障害となり、来年度からの運営に大きな課題を残すことになりました。

まずは、真夏のような気温の中で、無事に運動会を終えることができたこと、子どもたちに大きなケガや熱中症などの事故がなかったことに安堵しています。急なお願いにもかかわらず、児童の応援席用としてテントを貸してくださった、下鍛冶屋区、藤沢区、佐々木区、荒川支所、金屋小学校、神納東小学校には、心より感謝いたします。また早朝から設営にご協力いただいた保護者の皆さん、本当にありがとうございました。

そんな大きな心配を抱えた中で開催でしたが、例年に勝るとも劣らないほど、見応えがあつて盛り上がりのある運動会でした。子どもたちは、六年生や応援団を中心に、大変良く動いていました。

よさこいソーランでは、地域の皆さんが、参加の呼び掛けに快く応じてくださり、予想以上に多くの方々から一緒に踊っていただきました。参加いただいた方々も多種多様で、おじいさんやおばあさん、お父さんやお母さんに限らず、小さなお子さんや保内小学校出身の高校生の姿もありました。まさに地域が一体となった会場の雰囲気感動したのは、私だけではないかと思えます。

しかし、来年度の運動会の運営に向けての課題も見えてきました。暑さ対策は避けては通れない大きな問題です。児童の応援席のテントは、おそらく次年度以降も必要となるでしょう。この改善策を継続的に運動会の仕組みとして定着させていくには、地域の協力がなくてはならないものです。今回のように物的な協力はもちろんですが、準備に要する人的な協力も必要です。このような新たな課題の解決には、「地域とともにある学校」として、コミュニティ・スクールの働きが、最も頼りになる味方なのではないかと考えます。